



つきぐみつうしん 8月



令和3年8月2日(月)
尚徳福祉会 井萩保育園

連日、気温の高い日が続いていますね。梅雨も明け、子どもたちは元気に水遊びを楽しんでいます。水の感触を楽しみながら、「冷たくて気持ちいいね」と嬉しそうな声が響いています。疲れも出やすい時期なので、園でもクールダウンを心がけていますが、お家でも一日の疲れが次の日に残らないよう、十分気を付けて頂けるといいですね。

●今月のねらい●

- ・夏季の気候に慣れ、快適に過ごす。
- ・保育者の声掛けで、出来る事は自分でしようとする。
- ・水を使うなどの夏ならではの遊びを楽しむ。



おねがい

- ・連絡ノートに、必ず水遊びの有無を記入してください。記入がない場合は、水遊び・シャワーは控えさせていただきます。
- ・水遊びをしたり、汗をかいて着替えたりする事が多くなるので、伸縮性のある脱ぎ着しやすい服のご用意をお願いいたします。
- ・衣類やバスタオルにはわかりやすく記名をお願いいたします。



7月上旬、雨上がりの園庭にはたくさんのダンゴ虫たちがいました。一人がバケツとスコップを持ってくると、また一人、また一人とどんどん寄って来て虫探しが始まります。「大きいダンゴ虫がいるよ」「小さいダンゴ虫がいる。これはお母さんかな？」と会話が広がります。また、ダンゴ虫が恐がらないように、そーっと触る姿やクラスに戻る時は「ダンゴ虫、ばいばい」と園庭に戻っています。

子どもは、自分より小さく弱い昆虫や小動物が、ほんのちょっとの力を込めればあっけなく失われる「はかない命」であることを、実際に関わる中で少しずつ学んでいきます。しかし、関わり方がわからず、棒でつついたり踏みつけたりすることも少なくありません。残酷な扱いをしないというのは大切な事ですが、その「残酷」の基準を大人が判断してダメと禁止するのではなく、関わり方を根気強く知らせ、生きるという命の大切さを、子どもなりに捉えられるようにすることが必要と考えています。